

# ふくしの森ステーション ひがしあがの だより

令和5年  
5月号

所在地：虎秀14-5 (東吾野地区行政センター内)

電話：070-7792-2436

FAX：050-3156-2236

メール：station-higasiagano@hannosyakyu.or.jp

開所日：原則、火～金 (祝日は除く)

時間：9:15～16:15

## 飯能市社協のホームページが 見やすくなりました♪

知りたい情報にすぐにアクセスでき、スマートフォンからも閲覧しやすい新ホームページを公開しました！

音声読み上げ機能や各種申請書のダウンロードなど、便利な機能を追加しています。

右のQRコードを読み込みもしくはインターネット上で「飯能市社協」と検索の上、ぜひご覧ください！



スマートフォンの方は  
こちらから

👉 目的ごとに必要な  
情報にアクセスしや  
すい構成になっています。

## ぱらっと ✿ 行ってんべえ ✿ ～福祉のなんでも相談会～

令和5年 **5月10日(水)**  
午後1時30分から3時まで  
会場：東吾野地区行政センター

- 
- ・子どもの発育発達が心配
  - ・人づきあいが苦手、人に会うのが怖い
  - ・家から出られず苦しんでいる
  - ・お金がなくて困っている
  - ・福祉サービスについて知りたい
  - ・家族のことで相談したい などなど

- 
- ・介護保険について知りたい
  - ・物忘れが気になるようになってきた
  - ・身体のこと、健康について相談したい
  - ・近所に知り合いが少ない、仲間づくりの機会がほしい
  - ・ボランティア活動をしたい (してほしい) などなど

左のようなお悩みはもちろん  
どんな相談でも大丈夫！

- ・飯能市健康づくり支援課 (保健師)
  - ・すこやか福祉相談センターはちまん町
  - ・地域包括支援センターはちまん町
  - ・社協 (コミュニティソーシャルワーカー)
- がどんな相談もお受けします。

当日は**各種測定 (血管年齢、血圧、  
体組成チェック)**も予定しています。  
ぜひお気軽にお越しください♪

# 地域ふくし発見!

飯能市内の地域福祉に関する素敵な活動や取組みをふくしの森ステーションのCSW(コミュニティソーシャルワーカー)が取材・発信していきます。

## 吾野の地産地消の野菜を活用しよう!

吾野で十数年サロン活動してきた仲間が、地元の採れたて野菜を活用して何かできないかと始めた取組みが「あおぞら昼市南川」です。気心の知れた仲間同士で始めた活動で地域の方が買いに来て喜ぶ姿や、配達に行くのを笑顔で待っていてくれて、お茶を飲みながらお喋りをするのにやりがいを感じているそうです。

## 一生懸命料理をしています!



販売の前日には料理の仕込みをしながら味付けの相談をしたり、お喋りをしながら和気あいあいと料理をしているとのこと。先月はコロッケを240個も作ったそうです。買い物に來れない方へは配達もしています。取材にうかがった日は、赤飯・みそポテト手作りこんにゃくの煮物・のらぼうの胡麻みそ合せ・おからを販売していて、早速お昼に御馳走になりました。とても美味しかったです。4月は筍ご飯・わらびの煮物なども販売する予定です。

問合わせ: 「あおぞら昼市南川」 090-7401-5619

代表: 浅見 晴美氏 (左)

【活動日】 毎月最終火曜日

【活動場所】 飯能市南川695-2



皆さんに買ってきてほしい



配達もしますよ



# 「あおぞら昼市南川」



取材レポート: CSW松本

今回ご紹介するのは、令和4年10月にオープンした「あおぞら昼市南川」です。南川の有志が地域の皆さんの助けになればと、お惣菜等を販売しています。



始めに3かけ

佐々木さんからの手紙!

「衣食住」の中でも「食」は生命と深い関係で結びついていることは誰れもかご存知だと思います。私たちの周辺はスーパーマーケットが無くそこまでの交通手段は自動車か主となり、年齢・健康面からも限界があり行動範囲が狭くなっているのが実状です。生活をする上で不便な方が増加の一途を辿るであろう問題を、小さな地域から社会活動の一助として何か手助けが出来ないかと思いお声掛けしたところ10余名の方々が趣旨に賛同してくださいました。

皆で考案した呼名を「あおぞら昼市南川」と称し活動を開始してから早くも半年が経過しました。ご利用されている方々から「毎月が楽しみですよ」のお声を励みにチームワーク良く頑張っております。

【基本方針】

1. 地産地消の心掛け
  2. 手作りの美味しいお惣菜等を、お安く提供
  3. 「笑顔」「チームワーク」「無理をしない」!
- 上記の心掛けをモットーに活動しております。

佐々木初江